

今年の夏、夜空に明るくかがやく赤い星が見つかることでしょう

その星の正体は

今年 15 年ぶりに地球に大接近する火星です (最近接近するのは7月31日です)

火星は、地球と同じく太陽のまわりを回っている惑星のひとつです

地球のとなりの惑星 火星のことを知ろう！

展示内容

- ①火星ってどんな星？
地球とくらべてみよう
- ②火星探査の歴史
- ③日本の火星探査最前線
……など

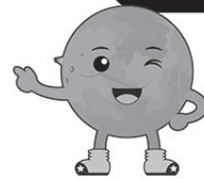


雷鳥ジオと 夜空の赤い目

火星の大接近をさぐれ!

ある夏のこと、立山にすむ動物たちは、夜空に輝く赤い星が毎日少しずつ明るくなっていくことに気づき不安になります。雷鳥のジオは、その赤い星のことを調べるため、宇宙に行ったことがあるという「宇宙桜」に話を聞こうと、黒部市吉田科学館に向かうことに。果たして、赤い星の正体は何なのでしょう？

プラネタリウム



火星をテーマにした
吉田科学館
オリジナル番組

放映期間

7月21日(土)～10月31日(水)

放映時間

平日 14:30 土日祝日 11:00、15:30

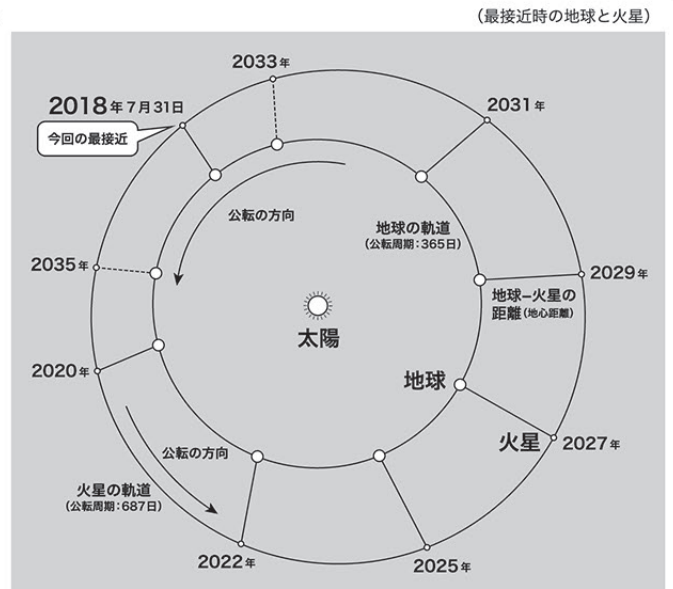
(星空解説+物語 約40分)

火星大接近は なぜ起きる？

地球は約 365 日、火星は約 687 日かけて太陽のまわりを一周します。太陽から見て内側にある地球のほうが、太陽のまわりを回るスピードが速く、約 2 年 2 カ月ごとに地球が火星を追い抜きます。そのとき、地球と火星の距離が近くなることを、火星の接近といいます。

地球の軌道(通り道)は円に近いですが、火星の軌道は楕円になっているため、地球と火星の軌道の間隔は、場所によって異なります。地球と火星の軌道の間隔が近いところで地球と火星が接近する場合を「大接近」と呼び、軌道の間隔が離れているところで接近する場合を「小接近」と呼びます。

火星の大接近は、15 年から 17 年ごとに起こり、今年の「大接近」では、5,759 万 km まで近づきます。6,000 万 km よりも近くなるのは 2003 年以来となります。



火星接近表

最接近日	最接近時の火星までの距離
2018年7月31日	5,759万km
2020年10月6日	6,207万km
2022年12月1日	8,145万km
2025年1月12日	9,608万km
2027年2月20日	10,142万km
2029年3月29日	9,682万km
2031年5月12日	8,278万km
2033年7月5日	6,328万km
2035年9月11日	5,691万km

